企画展
「鉄道博物館100年のあゆみ 1921-2021」

2021年は当館の前身である、初代・鉄道博物館が開館してから100周年にあたります。この間、名称や所在地、運営組織、収蔵資料、展示手法など、多くの面で変化を遂げました。本展では100年という節目の年にあわせ、これまであゆんできた道のりを、写真やデータなどを中心にふり返ります。

■会　期　2021年10月14日(木) ～2022年1月31日(月)
※休館日を除く

■会　場　本館２Ｆ スペシャルギャラリー2

■入場料　無料 **※入館料のみでご覧いただけます。**

■主な展示内容

① 写真でふり返る100年

初代・鉄道博物館の開館から、交通文化博物館、交通博物館を経て、現在の鉄道博物館に至るまでの歴史を、3つの時代に分けてご紹介します。

東京駅北側高架下時代
（1921～1935年）

万世橋時代
（1936～2006年）

大宮時代
（2007年～現在）

② 万世橋駅のあゆみ

博物館のある場所として長年親しまれた神田・万世橋には、かつて中央本線の万世橋駅がありました。1912年の開業から1943年の休止にいたるまでの同駅の歴史と博物館との関わりを紐解きます。

③ データでふり返る100年

博物館に関する様々なデータから、100年の歴史をふり返ります。

④ 博物館の場所 いま・むかし

歴代の博物館のあった場所や、現在の鉄道博物館があった場所の今と昔を比較し、歴史の流れをご紹介します。